

## 高校入試

先日、受験直前の高校入試倍率が新聞発表されました。皆さんご存知の通り、市高の倍率は県内公立高校トップの2.35倍でした（毎年、たくさんの受験生に希望していただいて大変ありがとうございます。母校がいつまでも人気校であって欲しいと心から思います）。

普段よく使う表現になりますが、寒い（厳しい）冬を経験すればするほど、春の暖かさを実感できるのではないか？また、その春の暖かさが愛校心に結びついていくのではないか…そんな風に私は思っています。

野球部入部希望受験生の皆さん、最後の最後まで受験勉強を頑張って下さい。

4月から共に生活できることを祈ります。  
陰ながら応援しています。

## 葛藤

我が家リビング、想像して下さい。  
真冬ですが、こたつはありません。  
人が横になれるソファに毛布があります。  
我が家ネコ6匹にとって絶好のシチュエーションは、そこに妻が毛布を掛けて横になっている…という状態なのです（その上で寝る）。そこに私が横になっている時…毛布は安心できる匂いだが、横になっている奴が安心できない…そんな時の動きが見ていて本当に面白いです。  
また、報告させていいただきます。  
失礼しました。



今号は1月19日号

第1242号です

等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

## 徹底すること

学校内で起きているイヤな事件の報道が多いです。現場の人間としても気になります。

私自身、1校目に勤務した高校は大変でした。毎日何かしらありました。小規模校だったので、全教員でも30名程度だったと思います。色々な指導をするのは無理（すべてが中途半端になる）、できる指導を徹底してやる…そんな風に取り組んだ記憶があります。それが何だったか…実は校内において、暴力行為を完全になくす（学校が安全・安心であるようにする）。高校の場合、ルールを守らなければ、懲戒処分（謹慎など）を受ける形になりますが、私の1校目はこれらの行為（暴力的な行為）に対しての処分が他の行為に比べて明らかに重かったのです。

勉強が苦手な子に関してはどんどん送ってきて下さい。精一杯面倒を見ます。ただし、暴力行為に関わる者に対しては厳しく罰します。そのような姿勢で中学校訪問等をすることが徹底されました。結果どのような形になったかというと、あそこ、（荒れていた）昔と違って落ち着いているらしいよ…そんな評判が広まり、定員割れ等が少なくなっていました。

当時（約25年前）、私の勤務校は小規模校だったこともあり、比較的早い段階で統廃合の対象になる…という噂がたっていましたが、25年経った今でもしっかりと存在し続けています。

私が確信していること、それは学校において一番大事なことは生徒が「安全・安心」であること、現役部員によく話しますが、私は市高野球部員時代、先輩からイヤなことを言われたり、されたりした経験がまったくないのです（それは誇りであり、伝統にして欲しいことです）。

「安全・安心」、忘れないで欲しいです。